

みんなで楽しむ 地域活動

皆さんは、運動会やとんど祭りなど町内会・自治会の行事に参加したことはありますか。ご近所さんの笑顔があふれる行事は、いつまでも楽しい思い出として心に残ります。今回は、地域の活動を楽しむお二人を紹介します。
園地域起こし推進課(☎532-0927、☎232-9783)



ひじやなほこ
泥谷奈保子さん(43)

井口四丁目子ども会会長。平成27年4月、役員3人がみんな新人で不安なスタートを切るが、地域の人に支えられ、日々楽しく活動している。3児の母。

友達の輪が どんどん広がります

子ども会は、町内会などを単位に、子どもたちが集まって、学年が違う友達との上手な付き合い方や、協力して助けあう力を身につけています。

46人の子どもが参加する「井口四丁目子ども会」では、加入している全家庭に少しずつ役割を設けています。できる範囲で分担することで、一人一人の負担を減らす工夫をしています。

笑顔と協力が私の強い味方

泥谷さんは、地域活動の役員になったのは今回が初めてです。「できるかどうか、とにかく不安でした。前任者や、町内会の人から優しく教えてくださいました。しつこいかもってぐらい何度も聞いて…。それでも笑顔で接してくれたんですよ。二人の役員さんと会員の皆さんがどんどん協力してくれます。心強い限りです」



お父さんたちも協力し、山から竹を切り出して
そうめん流し

ラジオ体操の先生と呼ばれています

泥谷さんは、役員になって得たものは大きいと言います。「子ども会活動を通して、地域の人たちとのつながりができました。だから皆さんにも役員をやってほしいと思います。お年寄りや、違う学年の子のご両親、近所の子どもたち。こんなに地域の人と話せるようになったのは子ども会のおかげです。夏休みになるとみんながラジオ体操をします。このことがきっかけで、下校中の女の子にラジオ体操の先生と呼ばれたこともあるんですよ」泥谷さんはほほ笑みます。

都合の良いとき、 気が向いたときでいいんです

もみじが丘町内会は己斐上二丁目の住宅団地にあります。団地には約540世帯、1,500人が暮らしています。

町内会の中で、自発的に結成された「もみじが丘助けあい隊」は、自分たちにできる小さな課題を解決し、協働することでコミュニケーションがより活発になるように活動しています。

地域活動はレジャー

本山さんは、メンバーの誰もが全ての活動に参加する必要はないと言います。「まじめな人が多いから、入ったら必ず参加しなくちゃいけないって考えてしまうんじゃないですかね。でも、そんなふうに義務感ばかりだと息切れしちゃうでしょ。それぞれの生活が第一で、都合のいいときや、気が向いたときに来てもらうのが一番いいんです。隊員の中には、地域活動は

レジャーだという人がいます。活動中は地域のため、人のためだと思っても、結局は自分が楽しんでいるんですよ」

それぞれができることを楽しむ

もみじが丘助けあい隊の活動は、美化活動や子どもの見守り、生活支援などさまざまです。57人の隊員それぞれが自分のできること、興味のあることに参加しています。「結成から約10年、もみじが丘にはなくてはならない存在になったと思います。これからも楽しく活動していきたいですね」



三世代が協力して公園の花壇に花を植えました



もとやまたけし
本山剛さん(75)

定年退職を機に、己斐上二丁目のもみじが丘で町内会活動を始める。平成18年9月、団地内の空き地の清掃をきっかけに、身近な課題解決のために「もみじが丘助けあい隊」を結成。

皆さんの活動を応援します！

市は、市民の皆さんのまちづくりや地域コミュニティ活動を応援します。

まちづくり支援センター

まちづくり活動に必要な物品の貸し出しなどを行っています。お気軽にご利用ください。



園西区地域起こし推進課
☎532-0927、☎232-9783

市民活動保険

市民活動を行う市民の皆さんのための損害保険・賠償責任保険で市が保険料を負担します。



園西区地域起こし推進課
☎532-0927、☎232-9783

こむねっとひろしま

市が町内会・自治会などによる地域のホームページの開設・運営を支援するサイトです。



園市民活動推進課
☎504-2131、☎504-2066

市政出前講座

市の職員が講師となり、地域に出向き、市の施策や制度・事業などを説明します。



園広報課
☎504-2116、☎504-2067

町内会・自治会に 入りませんか

加入を希望される人は、お住まいの町内会・自治会の役員さんにご相談ください。

役員さんが不明な場合は地域起こし推進課か市HPからお問い合わせください。

携帯電話をお持ちの方は右の二次元コードもご利用いただけます

